

# 令和7年度 第2回 福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議

日 時：令和7年12月19日（金）16時00分～

場 所：エルガーラホール7階 多目的ホール2

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 議 題

#### (1) 生活交通に関する取組み状況について

①既存取組地区

②新規取組地区

### 3. 閉 会

#### 会議資料

資料1 福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議 委員名簿

資料2 福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議設置要綱

資料3 福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議における議事等の取扱いについて

資料4 説明資料（生活交通に関する取組み状況について）

## 福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議 委員名簿

	氏 名	役 職 名	備 考
委員	辰巳 浩	福岡大学 工学部長	委員長
委員	稲永 健太郎	九州産業大学 理工学部 情報科学科 教授	副委員長
委員	藤田 和子	公認会計士・税理士	
委員	小林 由希子	市民局 コミュニティ推進部長	
委員	松岡 淳	住宅都市みどり局 都市計画部長	

(令和7年9月1日現在)

## 福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議設置要綱

## (趣旨)

第1条 この要綱は、公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通の確保に関する条例（平成22年福岡市条例第25号）に基づく施策として、持続可能な生活交通確保に向けた取組みを実施するにあたり、公共交通不便地等における実証運行等の取組みの方向性、生活交通確保に係る取組みについて、広く専門的かつ客観的な視点から意見を聴くため、福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議（以下「会議」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

## (委員の選任)

第2条 会議は専門的な知識又は経験を有する者、その他市長が必要と認める者から市長が委嘱した委員5名で組織する。

## (会議の目的)

第3条 会議では、次に掲げる事項について、委員から意見を聴取する。

- (1) 公共交通不便地等における実証運行等の取組みの方向性に関する事項。
- (2) 生活交通確保に係る取組みに関する事項。
- (3) その他生活交通確保における事業の推進に関して必要な事項。

## (任期)

第4条 委員の任期は、3年とする。

- 2 委員の再任は妨げない。

## (会議)

第5条 市長は、委員の意見聴取を行うため、会議を開催することができる。

- 2 会議は、原則公開とし、傍聴することができる。ただし、議事の内容が、福岡市情報公開条例第38条ただし書きの規定に該当する場合は非公開とすることがある。

## (委員長及び副委員長)

第6条 会議では、委員の互選により、委員長及び副委員長を選任する。

- 2 委員長は会議を主宰する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

## (守秘義務)

第7条 委員は、その職務に関して知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(解嘱)

- 第8条 市長は、やむを得ない事情があると認めるときは、委員を解嘱することができる。
- 2 市長は、前項の規定により委員を解嘱した場合は、専門的な知識又は経験を有する者その他市長が必要と認める者のうちから、新たに委員を選任することができる。
  - 3 前項による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第9条 会議の事務局は、住宅都市みどり局都市計画部地域交通課に置く。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和7年6月20日から施行する。

## 福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議 における議事等の取扱いについて

福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議設置要綱第10条に基づき、本会議における議事等の取扱いについて下記のとおり定める。

### (1) 会議開催等の事前公表

会議の名称、開催の日時及び場所、議題、会議の公開又は非公開をあらかじめ公表する。  
(福岡市附属機関等の設置及び運営に関する要綱第7条)

### (2) 会議に関する要綱と委員名簿の公表

第1回アドバイザー会議後、要綱と委員名簿を福岡市ホームページにおいて公表する。

### (3) 議事録・会議資料の取扱い

- ・原則公表とするが、非公開情報に該当する際は、非公表とする。  
(福岡市情報公開条例第36条第2項。以下「公開条例」という。)
- ・なお、会議の議事録は、公開条例第7条の各号にある非公開情報の部分を除き公開するものとする。

# 令和7年度 第2回 福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議

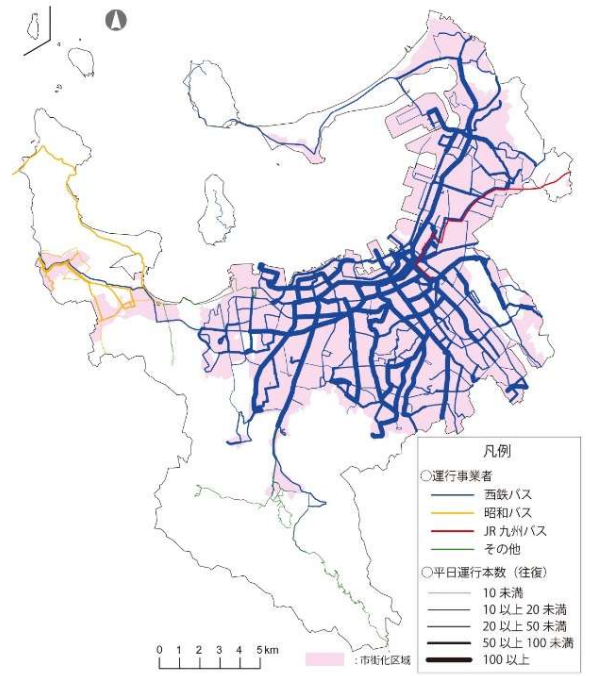
- (1) 生活交通に関する取組み状況について
  - ① 既存取組地区

# 生活交通の確保に向けた取組みについて

# 生活交通の確保に向けた取り組み

- 郊外部の人口減少やバス利用者数の減少に加え、近年の運転手不足など、公共交通を取り巻く環境は厳しくなっており、バス路線の維持が課題となっている。
- また、高齢化が進展し、生活圏での移動ニーズが高まる中、丘陵地など、公共交通が不便な地域における生活交通の確保が重要となっている。

市内バス路線の運行本数（R7.11時点）



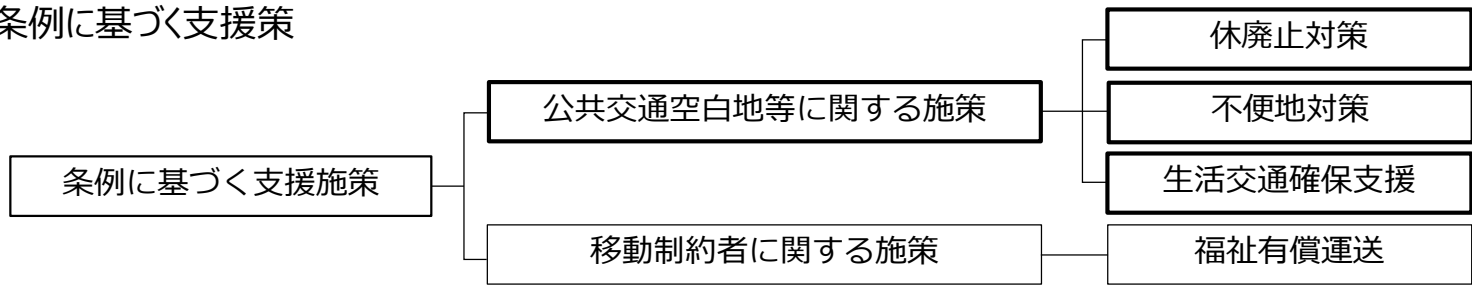
### 参考：市内のバス交通の現状

市内においては、西鉄バス、昭和バス、J R九州バス等が路線バスを運行しており、幹線道路を中心としたバスネットワークが形成されている。

## 生活交通条例に基づく施策

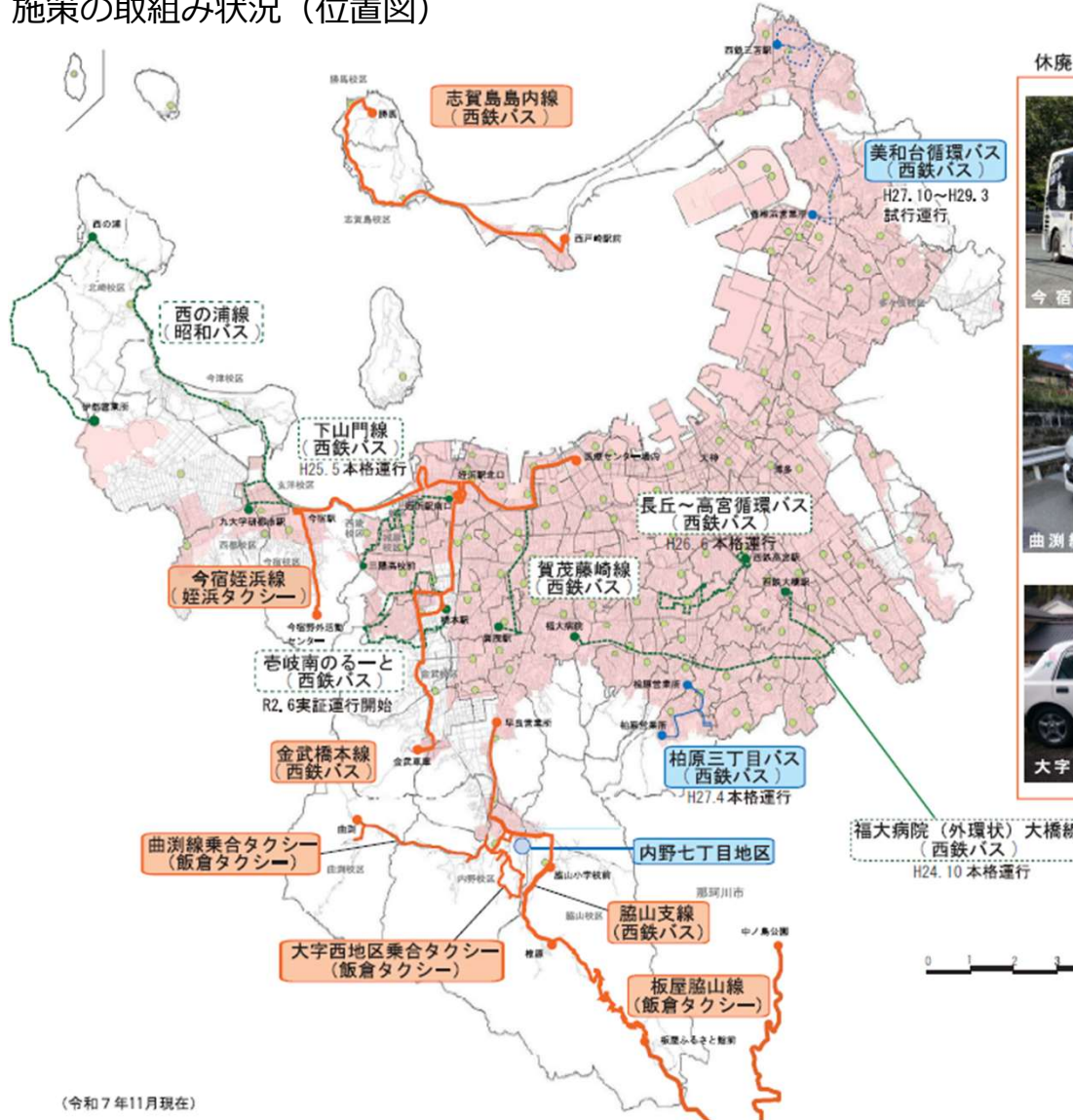
- 「公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通の確保に関する条例（平成22年12月28日施行）」に基づき、市による「公助」を、市民及び市民団体による「共助」及び「自助」、並びに公共交通事業者のさらなる「努力」で補い合いながら、地域、交通事業者と共働で、生活交通の確保に取り組んでいる。

### 生活交通条例に基づく支援策



# 条例に基づく施策の取組み状況 <位置図>

## 施策の取組み状況（位置図）



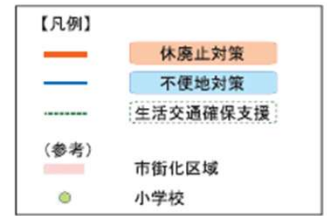
(令和7年11月現在)

## 公共交通空白地等に関する施策

**(1) 休廃止対策**  
 バス路線の休廃止に伴い公共交通空白地となる地域において、代替交通の運行経費に補助を行う。

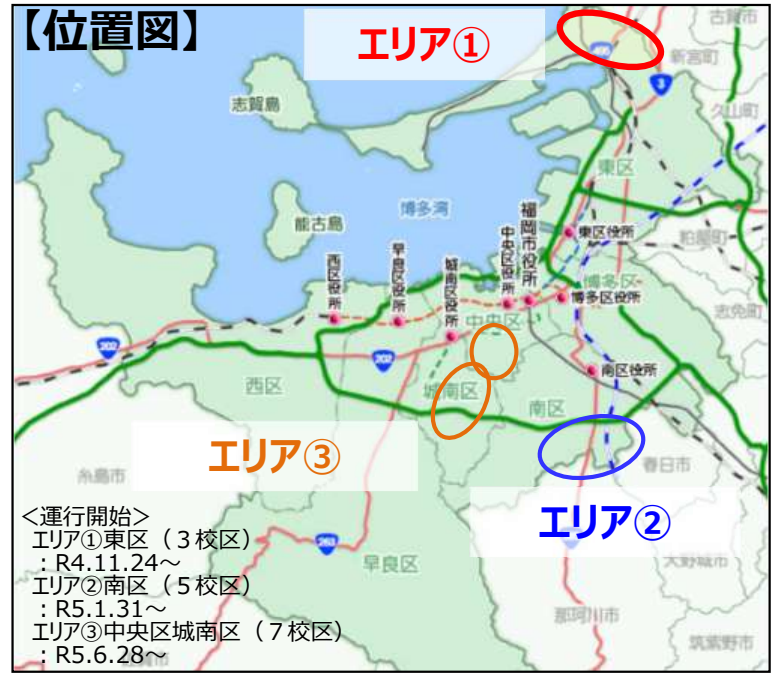
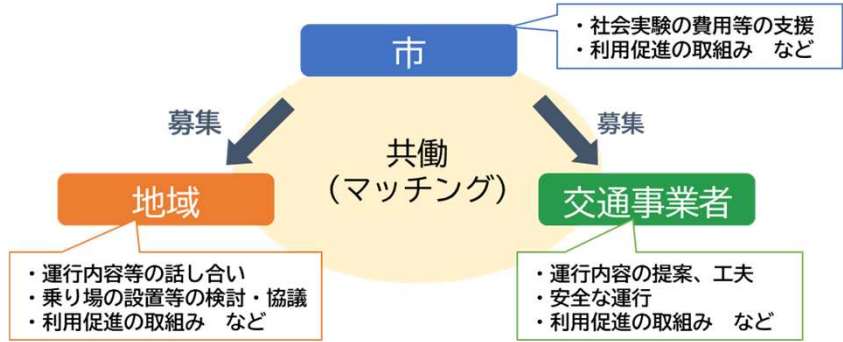
**(2) 不便地対策**  
 バス停・鉄道駅から一定の距離又は高低差のある地域などにおいて、地域の取組みに対し、検討経費や交通事業者が実施する実証運行などの経費に補助を行う。

**(3) 生活交通確保支援**  
 休廃止対策や不便地対策の対象地以外において、生活交通確保に向けた地域主体の取組みに対し、地域と事業者間の調整などの活動支援を行う。



# オンデマンド交通社会実験 <概要>

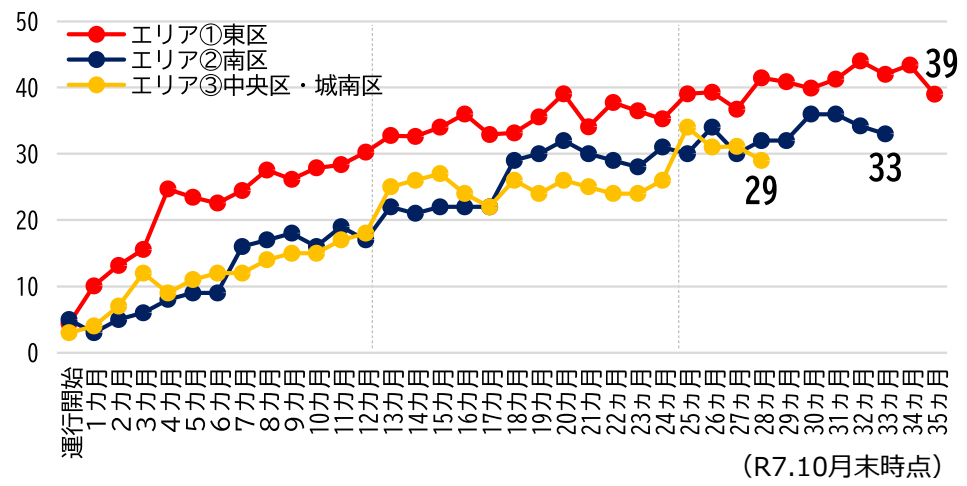
○ **高齢化の進展等**に伴い、公共交通が不便な地域における買い物や通院などの**生活交通確保が課題となる中、持続可能な生活交通確保の仕組みづくり**に向け、取組みの一つとして、**令和4年度より、オンデマンド交通を活用した社会実験を実施**している。



## <取組み状況>

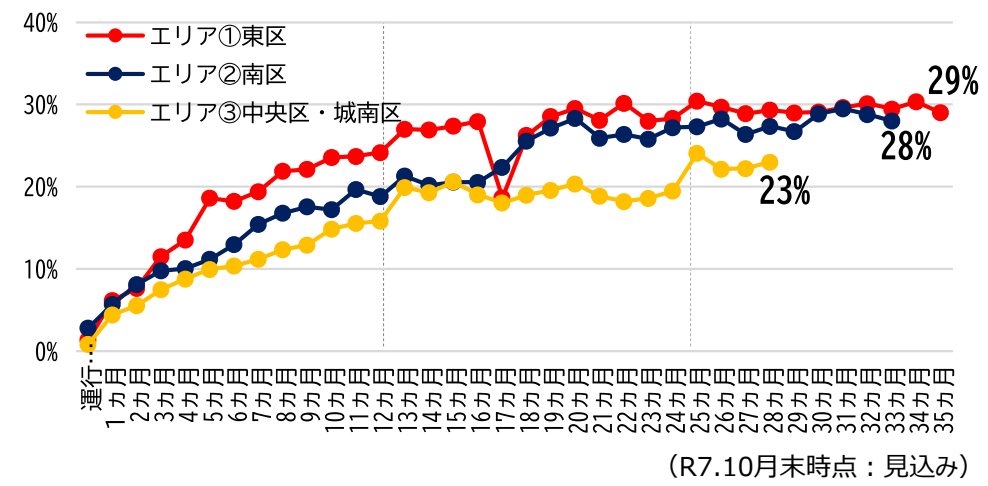
### ◆利用状況 (人/日)

利用者は徐々に増加



### ◆収支率 (%)

収支率は徐々に増加 (改善)



# オンデマンド交通社会実験 <運行概要>

## <参考：運行概要>

	エリア①東区 美和台・和白東・三苫校区	エリア②南区 老司・鶴田・弥永西・ 弥永・日佐校区	エリア③中央区・城南区 赤坂・草ヶ江・小笹・ 長尾・片江・金山・七隈校区
運行内容	広域運行		曜日別運行
実施体制	(株)アイシン (企画・システム構築等) 第一交通産業(株) (運行マネージメント) (株)第一交通 (運行、車両管理)	(株)アイシン (企画・システム構築等) 第一交通産業(株) (運行マネージメント) 福岡第一交通(株) (運行、車両管理)	
システム名	チョイソコ		
運行日	平日（月～金） （土日祝・年末年始は運休）		平日 及び 土曜日 ※各3曜日 （日祝・年末年始は運休）
運行時間帯	8：00～18：00（ドライバー休憩1時間含む）		
運賃設定	300円/1乗車・人（障がい者、障がい者の介護者（1名）、小学生は半額） ※エリア②南区：井尻駅・博多南駅付近は400円/1乗車・人（障がい者、障がい者の介護者（1名）、小学生は半額）		
使用車両	ユニバーサルデザインタクシー車両（乗客定員4人） 1台		
運行期間	R4.11.24～R8.3.31	R5.1.31～R8.3.31	R5.6.28～R8.3.31

# 公共交通不便地等における支援強化

○ 高齢化の進展、生活圏の移動ニーズの高まりなど、郊外部をはじめ公共交通が不便な地域における生活交通の確保が重要となっており、社会実験での成果などを踏まえ、**令和7年6月に支援制度（不便地対策）を拡充**するなど、**取組みを強化**。

## 不便地対策

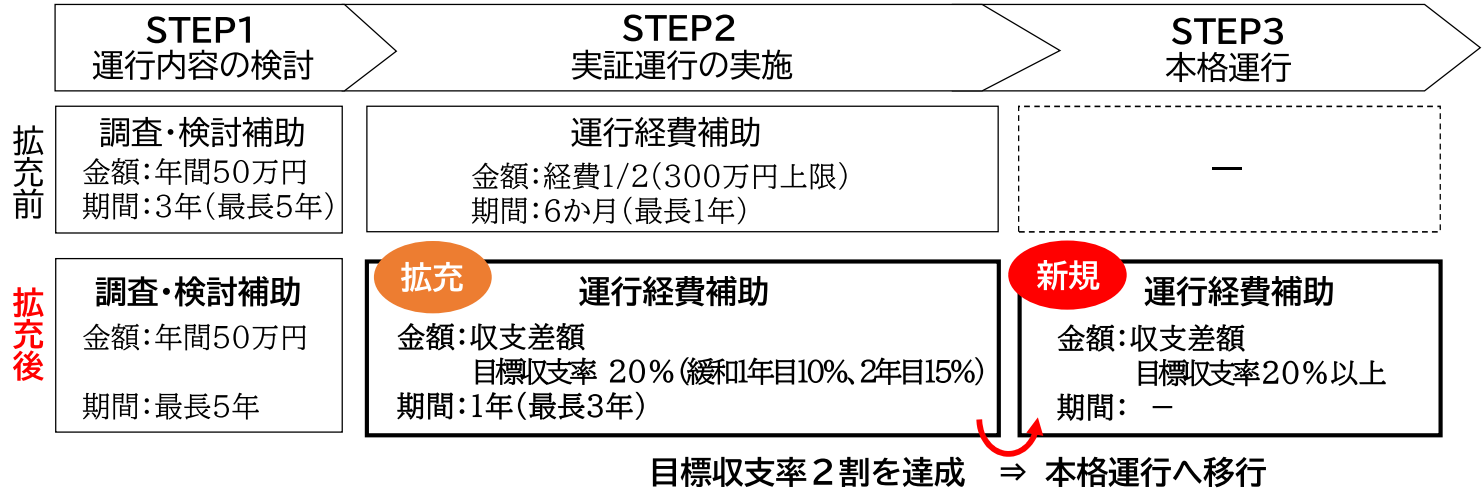
### ①支援の対象地域

○ **公共交通不便地等**（公共交通不便地、公共交通不便地に準ずる地域 等）を含む地域

### ②支援の内容

- **公共交通不便地等を含む地域**において、地域の取組みに対する検討経費や、交通事業者が実施する**実証運行への補助を拡充**するとともに、**本格運行への補助を新たに導入**
  - ・ 社会実験の実績等を踏まえ、**目標収支率を2割**（運行経費の8割を補助）に設定する
    - ※**実証運行1～2年目**は、**目標収支率の緩和措置**を適用可能（1年目10%、2年目15%））
  - ・ 本格運行移行後も、収支率の向上が図られるよう、**インセンティブ制度を導入**
  - ・ オンデマンド交通に限らず、地域の実情に応じた持続可能な生活交通を確保

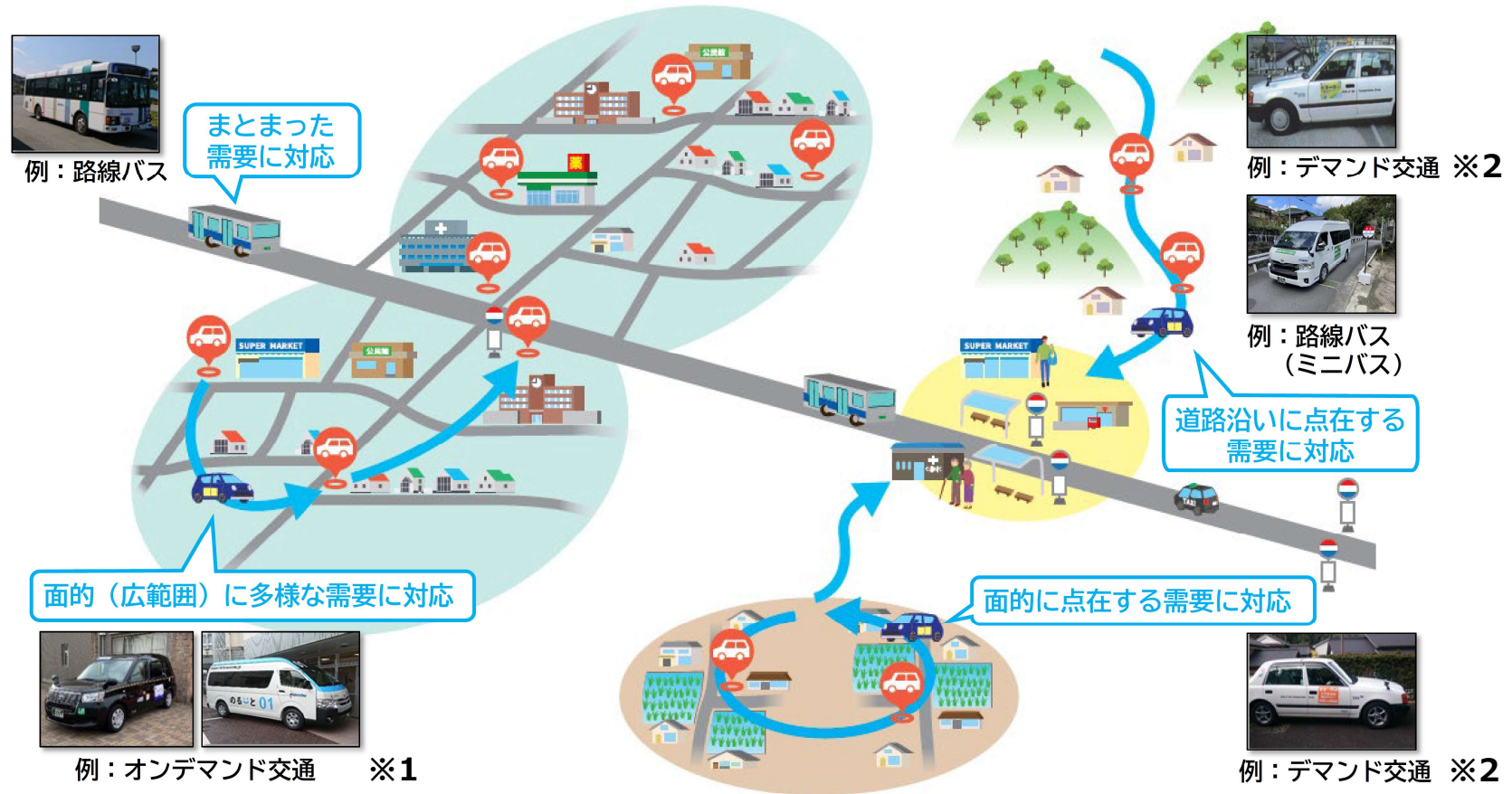
〈支援の概要〉【公共交通不便地対策補助金交付要綱】



※目標収支率：社会実験の実績等を踏まえ、目標収支率（収支率＝収入÷運行経費（初期経費等除く）を設定。目標収支率に至らなかった場合には運行見直しを行うなど、収支率の改善状況を踏まえたうえで、運行の継続有無を判断。

# 公共交通不便地等における支援強化

〈参考：地域の実情に応じた生活交通の確保イメージ〉



## ※1 オンデマンド交通

一定の運行区域で予約のある都度運行するもの

(例：エリア①東区・オンデマンド交通社会実験)

運行車両：小型タクシー車両 1台

運行区域：約5.8 km<sup>2</sup>

運行時間：8時～18時

運行本数：予約の都度運行(4便/時間程度)

その他：運行システムを用いるため複雑な運行可能

複数校区で連携

## ※2 デマンド交通

路線や一定の運行区域で時刻を定め予約に応じて運行するもの

(例：早良区西地区・休廃止対策)

運行車両：小型タクシー車両 1台

運行区域：概ね2 km<sup>2</sup>

運行時間：8時～17時(運行時刻を定める)

運行本数：8便(4往復)

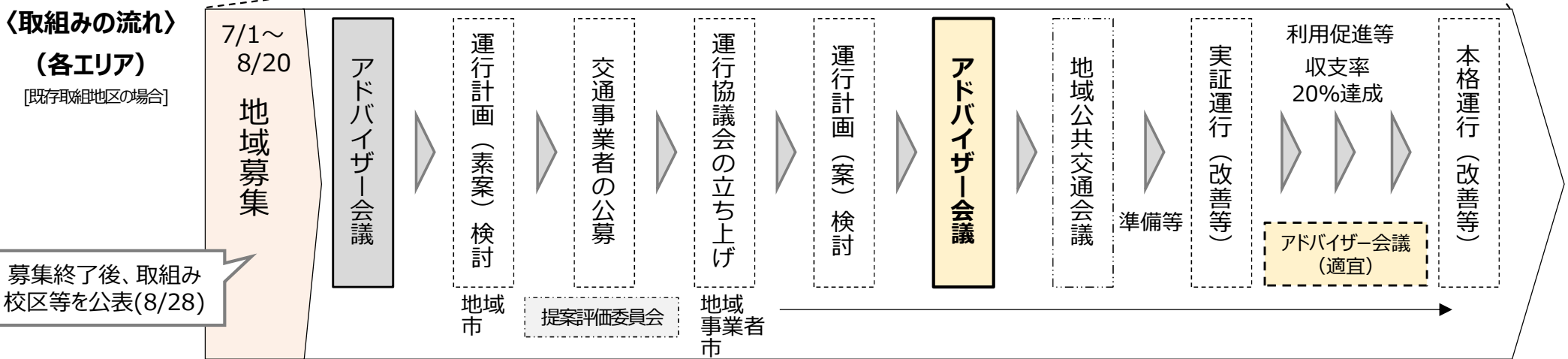
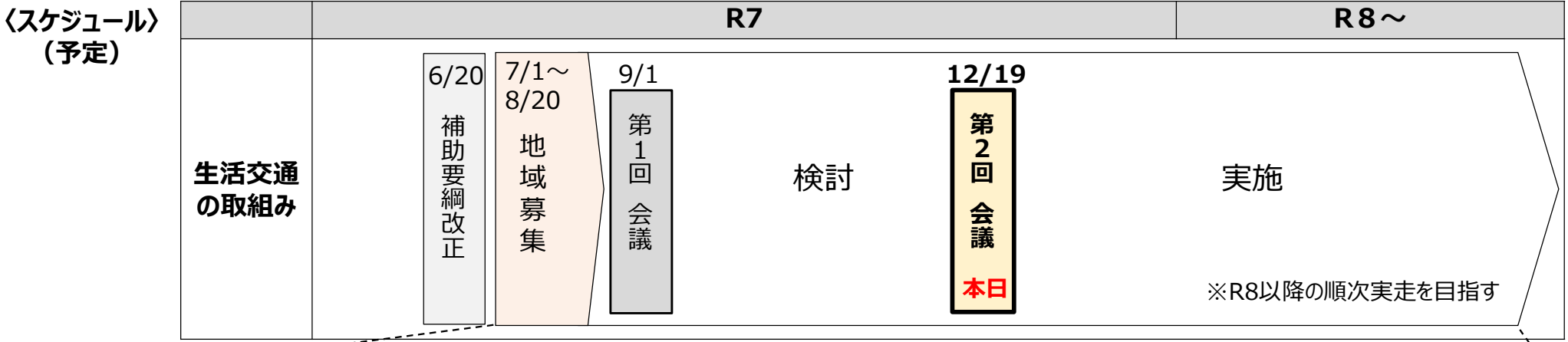
その他：運行システムを用いないため比較的簡易な運行

単独校区

# 不便地対策（新制度）の取組み状況 について

# 不便地対策（新制度）の取組み状況について

- 新たな支援制度にて、公共交通不便地等を含む地域において、市や交通事業者と共働で取り組む地域を募集済（7/1～8/20）。
- 応募された地域と取り組むエリアや交通手段、運行計画などを検討、交通事業者の公募を経て、三者で運行協議会を立ち上げ、運行計画案や利用促進策を検討するなど、令和8年度からの順次、運行開始を目指し取組みを進めていく。



- ※ 取組状況などについて、適宜、本会議（福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議）に報告・協議を行う
- ※ 交通事業者の公募にあたっては、「福岡市生活交通確保に係る事業提案評価委員会」を設置し、事業提案等に意見・評価を行う
- ※ 取組状況や運行計画などについて、適宜、福岡市地域公共交通会議（国、地域・バス・タクシー事業者代表等で構成）にて報告・協議を行う

# 取り組む地域の募集結果

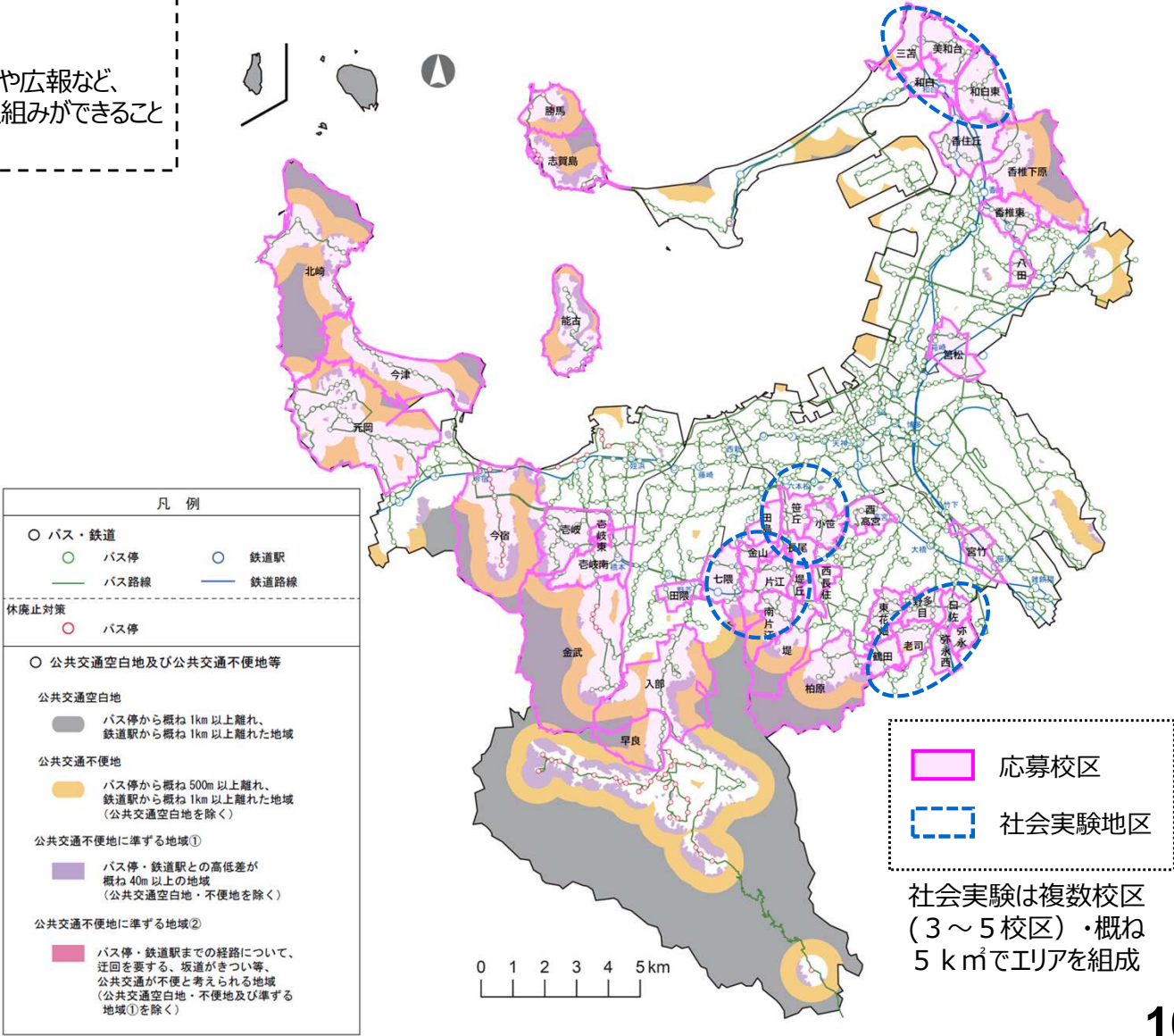
<令和7年度第一回生活交通確保に係るアドバイザー会議>

- 7月から、市や交通事業者と共働して取り組む地域を募集済（7/1～8/20）。
- 申込みのあった50校区と個別相談会を実施、このうち、**44校区から取組みの応募の申し込み。**

【応募対象】 応募条件を満たす自治協議会等  
 【応募条件】 ① 公共交通不便地等を含む地域であること  
 ② 生活交通の必要性を認識し、その確保に向けて話し合いや広報など、地域も主体性を持って、交通事業者及び市と共働した取組みができること  
 ③ 個別相談会に参加していること

区	校区
東区	美和台
	和白東
	三苦
	和白
	香住丘
	香椎東
	香椎下原
	八田
	勝馬
	志賀島
中央区	小笹
	笹丘
	日佐
南区	弥永
	弥永西
	老司
	鶴田
	野多目
	東花畑
	柏原
	西長住
	宮竹
	西高宮

区	校区
城南区	長尾
	田島
	七隈
	金山
	片江
	南片江
	堤
早良区	堤丘
	田隈
	入部
西区	早良
	壱岐
	壱岐南
	壱岐東
	金武
	今宿
	北崎
元岡	
今津	
能古	



# 交通手段と基本の運行内容（案）

<令和7年度第一回生活交通確保に係るアドバイザー会議>

## 1. オンデマンド交通

### 地域マッチング

：1エリアが5 km<sup>2</sup>程度（複数校区等）かつ、日常生活圏を意識し、目的地（利便施設等）が同じようなエリアとなるよう隣接する周辺校区等を組み合わせることを基本に地域と協議。

① **既存取組地区**（社会実験地区）

現状の枠組みを基本（一部隣接校区を追加）

② **新規取組地区**

応募があった地域を隣接校区等で組み合わせ

### 基本の運行内容（案）

：社会実験中の運行内容を基本とし、需要の広がりや要望等を踏まえながら、各エリアで検討、地域と協議。

運行区域：1台（概ね5 km<sup>2</sup>）  
 ※5 km<sup>2</sup>超は2台目検討可（実績データ等を踏まえ検討）  
 運行日：平日（要望等を踏まえ土日祝を検討）  
 運行時間：10時間（8時～18時）  
 運行車両：小型車両

（例：エリア①東区・社会実験）  
 運行区域：1台  
 運行日：平日  
 運行時間：8時～18時  
 運行車両：小型車両

## 2. デマンド交通

### デマンド交通の考え方

：単独校区や郊外の人口が少ないと考えられる地域は、地域意向も踏まえデマンド交通を基本に検討、地域と協議。

### 基本の運行内容（案）

：休廃止対策の事例を参考に、需要の広がりや要望等を踏まえながら、各エリアで検討、地域と協議。

運行日：平日（要望等を踏まえ土日祝を検討）  
 運行時間：8時～18時（要望等を踏まえ検討）  
 運行本数：10便（要望等を踏まえ検討）  
 運行車両：小型車両 1台

（例：早良区西地区・休廃止対策）  
 運行日：全日  
 運行時間：8時～17時  
 運行本数：8便（4往復）  
 運行車両：小型タクシー車両 1台

**既存取組地区（社会実験地区）**



# 既存取組地区（社会実験地区）：取組み地域一覧

○ 地域と協議のうえ、日常生活圏を踏まえ、一部隣接校区を追加した運行エリア及び運行計画（素案）とし、事業者公募を実施。

## <運行エリア>

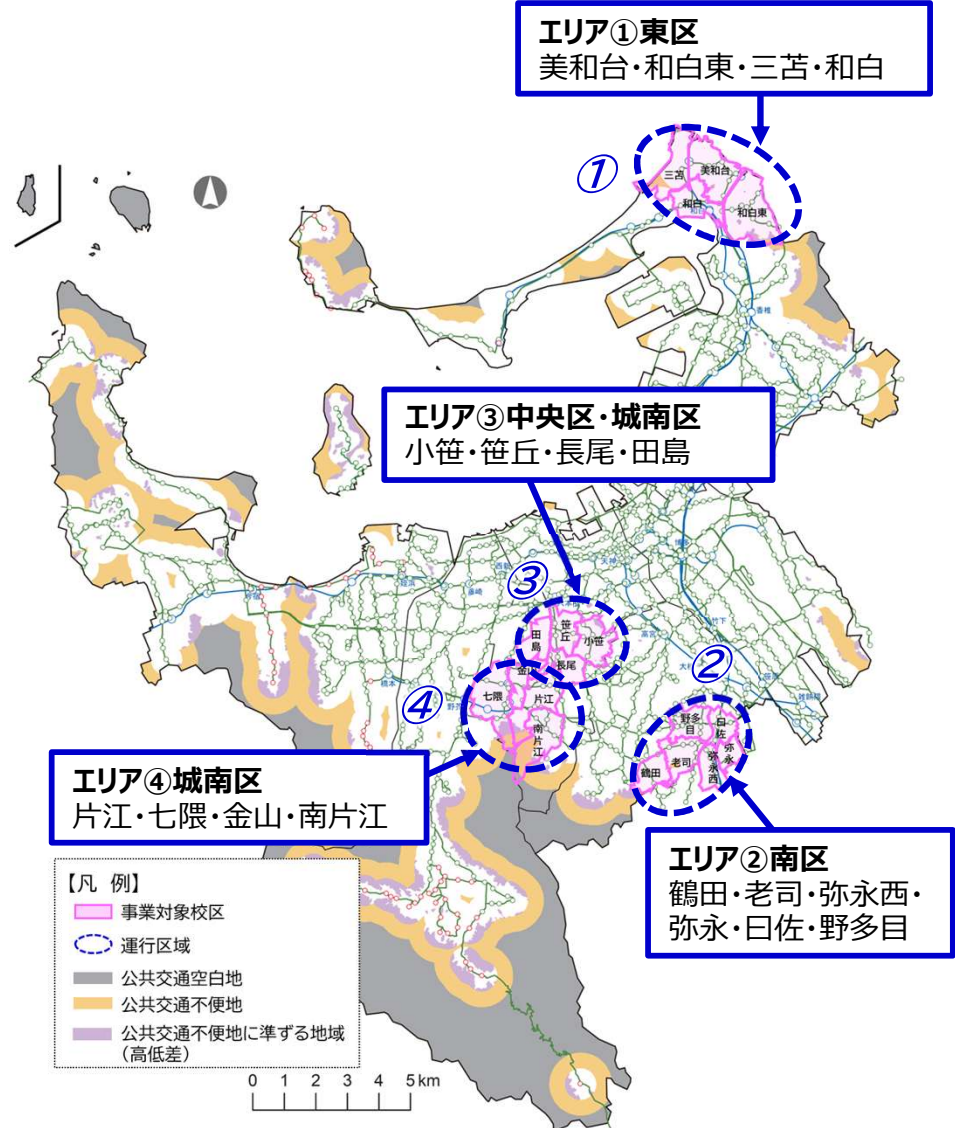
※下線：社会実験から追加

	<b>エリア①東区</b> 美和台・和白白東・ 三苫・和白白	<b>エリア②南区</b> 老司・鶴田・ 弥永西・弥永・ 日佐・野多目	<b>エリア③中央区・ 城南区</b> 小笹・長尾・ 笹丘・田島	<b>エリア④城南区</b> 七隈・金山・ 片江・南片江
<b>既存取組み</b>	社会実験中	社会実験中	社会実験中	社会実験中
<b>人口</b> (R7.9末)	48,690人	48,830人	51,112人	43,735人
<b>高齢化率</b> (R7.9末)	25.8%	28.4%	26.1%	25.6%
<b>計画運行面積</b>	約7.0 km <sup>2</sup>	約7.3 km <sup>2</sup>	約4.8 km <sup>2</sup>	約6.4 km <sup>2</sup>
<b>地域の状況</b>	・バス停等まで距離や高低差のある地域が点在している ・和白白地区を中心とした生活圏	・バス停等まで距離や高低差のある地域が点在している ・老司地区を中心とした生活圏	・バス停等まで距離や高低差のある地域が点在している ・笹丘地区等を中心とした生活圏	・バス停等まで距離や高低差のある地域が点在している ・七隈地区を中心とした生活圏

※出典：福岡市HP：登録人口（校区別） [令和7年9月末現在]

## <運行計画（素案）>

	エリア①東区	エリア②南区	エリア③中央区・城南区	エリア④城南区
<b>運行日</b>	週6日 (平日・土曜)	週6日 (平日・土曜)	週6日 (平日・土曜)	週6日 (平日・土曜)
<b>運行時間</b>	10時間 8:00~18:00	10時間 8:00~18:00	10時間 8:00~18:00	10時間 8:00~18:00
<b>運行車両</b>	小型タクシー車両	小型タクシー車両	小型タクシー車両	小型タクシー車両
<b>車両台数</b>	2台 (2台目は平日8時~13時のみ運行)	2台 (2台目は平日8時~13時のみ運行)	1台	1台



# 既存取組地区（社会実験地区）：交通事業者の公募

- 運行計画（素案）に基づき、**地域や市と共働して取り組む交通事業者を募集**（募集期間10/8～11/11）。
- 交通事業者に**エリア毎の事業提案**を求め、**提案評価委員会（11/28）**を経て、以下のとおり、**交通事業者を決定**。

## 【最優秀提案者の提案内容】

		エリア①東区 美和台・和白東・ 三苫・和白	エリア②南区 鶴田・老司・弥永西・ 弥永・日佐・野多目	エリア③中央区・城南区 小笹・長尾・ 笹丘・田島	エリア④城南区 片江・金山・ 七隈・南片江
応募者（グループ）名		チョイソコグループ			
実施体制	代表企業	(株)アイシン（企画、システム構築、コールセンター運営）			
	構成員	第一交通産業(株)（運行マネジメント）			
		(株)第一交通（運行、車両管理）	福岡第一交通(株)（運行、車両管理）		
システム名		チョイソコ			
運行曜日		平日・土曜（週6日）			
運行時間帯		8：00～18：00（ドライバー休憩含む）			
車両台数		2台（2台目は平日8～13時のみ運行）		1台	
運行車両〈提案〉		ユニバーサルデザインタクシー車両（乗客定員4名）			
運賃〈提案〉		300円/1乗車・人（障がい者、障がい者の介護者（1名）、小学生は半額） ※エリア②南区：井尻駅・博多南駅付近は400円/1乗車・人（障がい者、障がい者の介護者（1名）、小学生は半額）			



※運行計画案：各エリアでの運行協議会（地域、交通事業者、市）、福岡市地域公共交通会議及び運賃幹事会での協議を経て決定

# 既存取組地区（社会実験地区）：交通事業者の公募

## 【最優秀提案者の提案内容】 主な提案内容（利用促進などの取組み）

※今後、関係者と協議・調整のうえ実施

### ➤ 利用促進の取組み

#### ■ 専用パンフレット（停留所マップ含）の作成と会報誌による最新情報の発信

オンデマンド交通を初めて利用する方にも判り易いツールを準備、また、運行に関する更新情報やお出かけ促進情報を発信。



●パンフレット

●会報誌

#### ■ チョイスコふくおか公式LINEの作成と繰り返し利用したくなる仕組み

LINE公式アカウントの作成で会員登録や乗車予約をスムーズにし、LINEスタンプ機能（新規）、ポイントカード、介護割引の導入で継続利用を促す。



●LINE公式アカウント



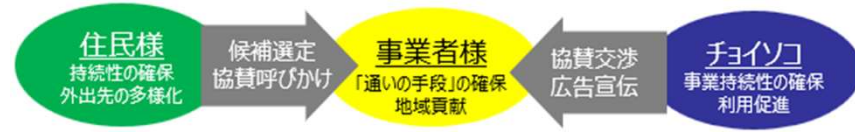
●LINEスタンプ

●ポイントカード

### ➤ 事業性確保の取組み

#### ■ 運賃外収入確保の取組み

地域住民様との協働により、地域の事業者からの協賛・広告料を得て、運営費用の一部を支えていただくことで乗車料金を低く設定し持続可能な運営を目指す。



#### ■ エリアスポンサーの仕組み

地域の事業者からの協賛・広告料により運営費用の一部を支えていただくことで採算性高く運営を維持することを目指す。

【スポンサープラン案】

ホワイト1,000円/月～プラチナ20,000円/月

※現行：1,000円/月～50,000円/月



### ➤ 利便性向上の取組み

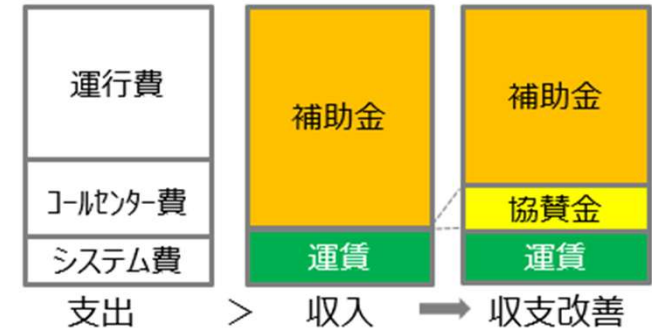
#### ■ ワンタイム利用制度の導入 New

帰省・ビジネス・観光などの需要を取り込むために、利用者登録無しで即時乗車できるシステムを導入予定。

#### ■ 多様な決済手段

現金、交通系IC（電子マネー）、クレジットカード  
高齢者乗車券・福祉乗車券  
QRコード決済（新規導入） New

### 〈収支改善イメージ〉



### 〈広告等の例〉



●会報誌

●車両マグネット

●HP広告掲載

# 既存取組地区（社会実験地区）：運行計画案【エリア①】

## ◆ エリア①東区（美和台・和白東・三苫・和白校区）

○ 事業者提案を踏まえ、以下のような運行計画案（運行エリア・運行内容）とし、関係者間で協議を進める。

### （1）運行エリア

- 運行区域（予定）  
   既存取組地区  
   新規地区



	校区	人口(人)	高齢化率
社会 実験	美和台	15,822	27.6%
	和白東	12,373	28.9%
	三苫	9,210	21.7%
	計	37,405	26.6%
追 加	和白	11,285	23.4%
	計	48,690	25.8%

【現状】	項目
運行面積	3校区（約5.8km <sup>2</sup> ）
運行日・時間	5日（平日）8時～18時
車両・台数	小型車両・1台
会員数（人）	1,850人（その他不明除く）
利用・収支率	約39人/日,約29%（R7.10）

### （2）運行内容

項目	運行計画	
交通手段	オンデマンド交通（区域運行：道路運送法施行規則第3条の3）	
運行区域	美和台・和白東・三苫・和白校区 外	
運行曜日	平日・土曜日（日曜日・祝日・年末年始は除く）	
運行時間帯	8：00～18：00（10時間）※ドライバー休憩時間あり	
使用車両 〈提案〉	車両①	ユニバーサルデザインタクシー車両 平日・土曜（8:00～18:00）
	車両②	ユニバーサルデザインタクシー車両 平日（8:00～13:00）
乗車受付方法	電話、インターネット	
乗車受付時間	電話受付：8:00～17:30、インターネット受付：24時間	
停留所数	約140箇所（設置予定箇所は別紙のとおり）	
運賃 〈提案〉	300円/1乗車・人 （障がい者、障がい者の介護者（1名）、小学生は半額）	

※ 運行計画は運行協議会、地域公共交通会議及び運賃幹事会での協議を経て決定

### 【事業計画】

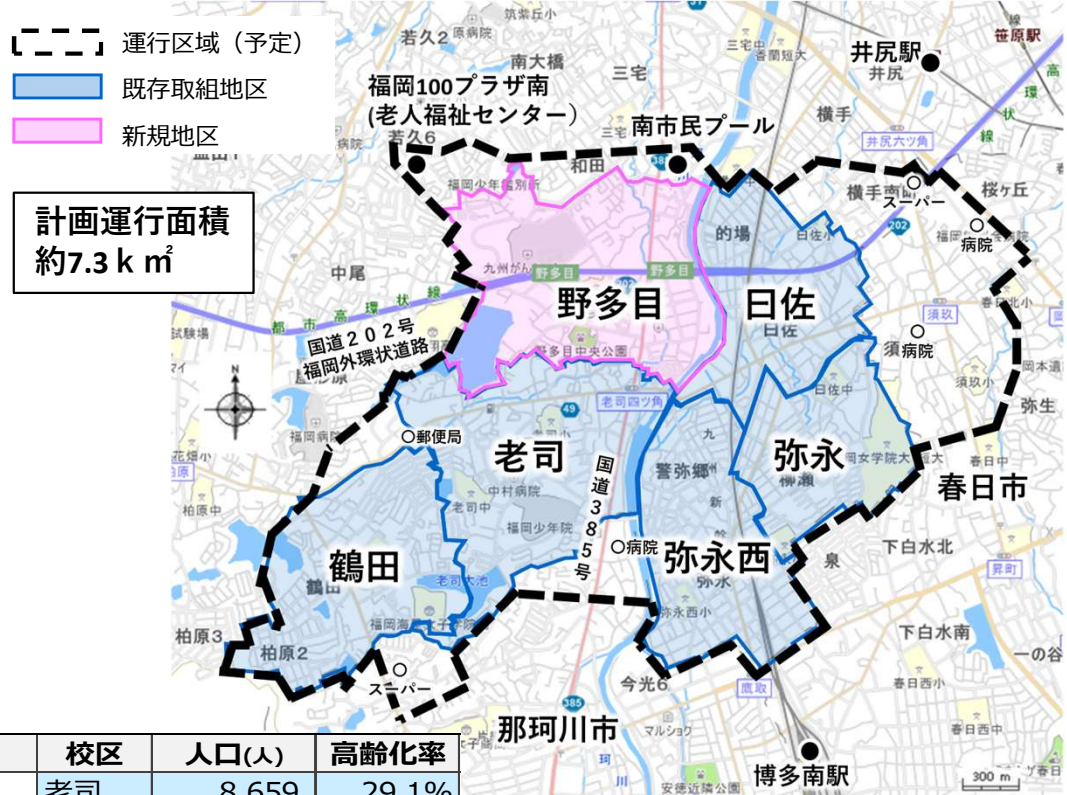
	運行1年目	運行2年目	運行3年目
会員数（人）	3,500	4,000	4,500
利用者数（人/日）	65人/日	70人/日	75人/日

# 既存取組地区（社会実験地区）：運行計画案【エリア②】

## ◆ エリア②南区（鶴田・老司・弥永西・弥永・日佐・野多目校区）

○ 事業者提案を踏まえ、以下のような運行計画案（運行エリア・運行内容）とし、関係者間で協議を進める。

### (1) 運行エリア



	校区	人口(人)	高齢化率
社会 実験	老司	8,659	29.1%
	鶴田	7,093	32.1%
	弥永西	8,453	26.2%
	弥永	5,844	33.9%
	日佐	7,600	22.5%
	計	37,649	28.4%
追加	野多目	11,181	28.1%
	計	48,830	28.4%

【現状】	項目
運行面積	5校区（約5.8km <sup>2</sup> ）
運行日・時間	5日（平日）8時～18時
車両・台数	小型車両・1台
会員数	約1,430人（その他不明除く）
利用・収支率	約33人/日、約28%（R7.10）

### (2) 運行内容

項目	運行計画	
交通手段	オンデマンド交通（区域運行：道営運送法施行規則第3条の3）	
運行区域	鶴田・老司・弥永西・弥永・日佐・野多目校区 外	
運行曜日	平日・土曜日（日曜日・祝日・年末年始は除く）	
運行時間帯	8：00～18：00（10時間）※ドライバー休憩時間あり	
使用車両 〈提案〉	車両①	ユニバーサルデザインタクシー車両 平日・土曜（8:00～18:00）
	車両②	ユニバーサルデザインタクシー車両 平日（8:00～13:00）
乗車受付方法	電話、インターネット	
乗車受付時間	電話受付：8:00～17:30、インターネット受付：24時間	
停留所数	約140箇所（設置予定箇所は別紙のとおり）	
運賃 〈提案〉	300円/1乗車・人（障がい者、障がい者の介護者（1名）、小学生半額） 井尻駅・博多南駅付近は400円/1乗車・人（障がい者等は半額）	

※ 運行計画は運行協議会、地域公共交通会議及び運賃幹事会での協議を経て決定

### 【事業計画】

	想定	運行1年目	運行2年目	運行3年目
会員数（人）		2,500	3,000	3,500
利用者数（人/日）		60人/日	65人/日	70人/日

# 既存取組地区（社会実験地区）：運行計画案【エリア③】

## ◆ エリア③中央区・城南区（小笹・笹丘・長尾・田島校区）

○ 事業者提案を踏まえ、以下のような運行計画案（運行エリア・運行内容）とし、関係者間で協議を進める。

### (1) 運行エリア

- ┌──┐ 運行区域（予定）
- 既存取組地区
- 新規地区

計画運行面積  
約4.8 km<sup>2</sup>



	校区	人口(人)	高齢化率
社会実験	小笹	14,584	23.2%
	長尾	12,624	27.9%
	計	27,208	25.4%
追加	笹丘	13,157	27.7%
	田島	10,747	26.1%
	計	51,112	26.1%

【現状】	項目
運行面積	4校区（約4.9km <sup>2</sup> ）
運行日・時間	3日（月・水・金）8時～18時
車両・台数	小型車両・1台
会員数	約920人（その他不明除く）
利用・収支率	約31人/日, 約23%（R7.10）

※ 社会実験中の赤坂・草ヶ江校区からの応募なし

### (2) 運行内容

項目	運行計画	
交通手段	オンデマンド交通（区域運行：道路運送法施行規則第3条の3）	
運行区域	小笹・笹丘・長尾・田島校区 外	
運行曜日	平日・土曜日（日曜日・祝日・年末年始は除く）	
運行時間帯	8:00～18:00（10時間）※ドライバー休憩時間あり	
使用車両 〈提案〉	車両①	ユニバーサルデザインタクシー車両 平日・土曜（8:00～18:00）
乗車受付方法	電話、インターネット	
乗車受付時間	電話受付：8:00～17:30、インターネット受付：24時間	
停留所数	約110箇所（設置予定箇所は別紙のとおり）	
運賃 〈提案〉	300円/1乗車・人 （障がい者、障がい者の介護者（1名）、小学生は半額）	

※ 運行計画は運行協議会、地域公共交通会議及び運賃幹事会での協議を経て決定

### 【事業計画】

想定	運行1年目	運行2年目	運行3年目
会員数（人）	1,000	1,300	1,500
利用者数（人/日）	40人/日	45人/日	45人/日

# 既存取組地区（社会実験地区）：運行計画案【エリア④】

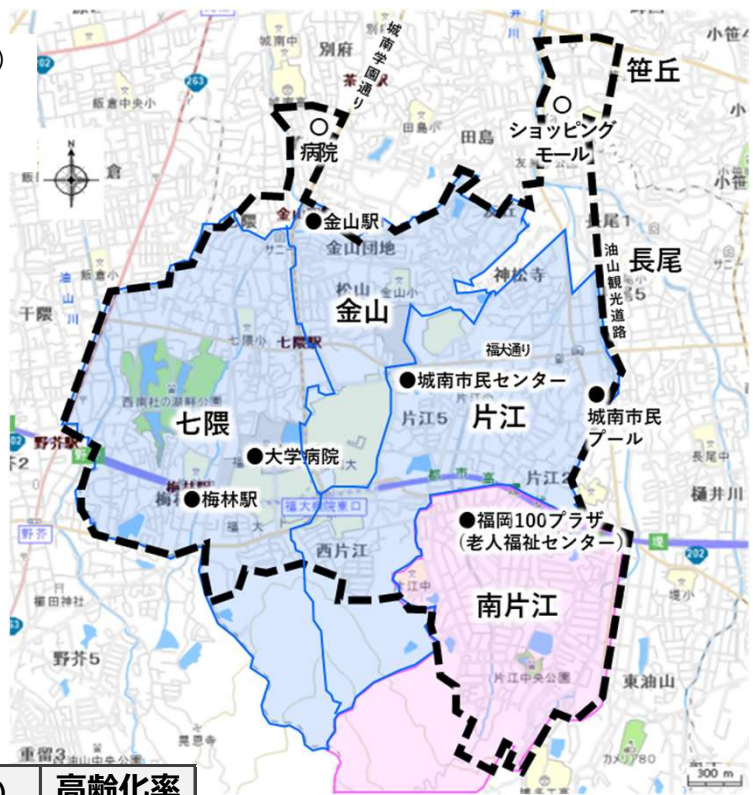
## ◆ エリア④城南区（片江・金山・七隈・南片江校区）

○ 事業者提案を踏まえ、以下のような**運行計画案（運行エリア・運行内容）**とし、関係者間で協議を進める。

### (1) 運行エリア

- ┌──┐ 運行区域（予定）
- 既存取組地区
- 新規地区

計画運行面積  
約6.4 km<sup>2</sup>



	校区	人口(人)	高齢化率
社会実験	片江	12,710	24.3%
	金山	7,378	31.9%
	七隈	13,744	23.5%
	計	<b>33,832</b>	<b>25.6%</b>
追加	南片江	9,903	25.3%
	計	<b>43,735</b>	<b>25.6%</b>

【現状】	項目
運行面積	3校区（約4.9km <sup>2</sup> ）
運行日・時間	3日（火・木・土）8時～18時
車両・台数	小型車両・1台
会員数	約650人（その他不明除く）
利用・収支率	約28人/日, 約22%（R7.10）

### (2) 運行内容

項目	運行計画	
交通手段	オンデマンド交通（区域運行：道路運送法施行規則第3条の3）	
運行区域	片江・金山・七隈・南片江校区 外	
運行曜日	平日・土曜日（日曜日・祝日・年末年始は除く）	
運行時間帯	8:00～18:00（10時間）※ドライバー休憩時間あり	
使用車両 〈提案〉	車両①	ユニバーサルデザインタクシー車両 平日・土曜（8:00～18:00）
乗車受付方法	電話、インターネット	
乗車受付時間	電話受付：8:00～17:30、インターネット受付：24時間	
停留所数	約110箇所（設置予定箇所は別紙のとおり）	
運賃 〈提案〉	300円/1乗車・人 （障がい者、障がい者の介護者（1名）、小学生半額）	

※ 運行計画は運行協議会、地域公共交通会議及び運賃幹事会での協議を経て決定

### 【事業計画】

想定	運行1年目	運行2年目	運行3年目
会員数（人）	1,000	1,300	1,500
利用者数（人/日）	40人/日	45人/日	45人/日